

【KSKQ】 2017年9月号 No. 192

あいえるらくがき帳

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認



約500km、長い長い巡礼の始まり…！



○地域でこんな生活をしています	2-3 P
○みんなでクッキング	4 P
○祝・10歳！	5 P
○あいえる協会夏祭り	6 P
○夏祭り	7 P
○GANE 雅訪問記 第18弾 ひよこ作業所編	8-11 P
○She is god.	12-13 P
○あいえる涼しも～祭	14 P
○ニューフェイス紹介	15 P

毎月
（
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.
8.
の
日）
発行

あいえる協会のホームページ

<http://aiel.or.jp/>

あいえる協会	検索
--------	----



こちらの QR コードからも
アクセスできます

～地域でこんな生活をしています～

前回7月号でグループホームに入居している池田さんをインタビューしました。今回は同じグループホームほんわかでも、「グループホームほんわか5」という法人内では一番新しいグループホームで生活をされている、弓北裕輝さんの生活について密着してきました。

◎平日の生活に密着☆

9：00頃 起床

16：00 送迎車でグループホームへ

10：00 送迎車に乗車

16：30 グループホームへ到着

11：00 生活介護事業所「ウィル」
午前のプログラム

*この間の時間は買い物をしたり、家でテレビを見たりして過ごしています

12：30 昼食

18：30頃 夕食

13：30 生活介護事業所「ウィル」
午後のプログラム

19：00頃 お風呂

22：00頃 就寝



↑職員さんとっこり笑顔☆（本人左）↑ほんわか入居者全体企画での集合写真☆
(本人右奥2番目)

◎休みの日は何をしていますか？

その日の様子、体調に合わせて外出先を考えて出かけています。美術館やカラオケ、近隣のショッピングモールへ買い物に行ったり、地元の理容室に行きます。

◎弓北さんが利用している障がい福祉サービスって？

・共同生活援助（グループホーム）

複数の障がい者が共同で生活する場です。世話人などが家事等の日常生活上のサポート、排泄、入浴の介助、相談等を行います。

・生活介護

常に介護が必要な方に、食事、排泄、入浴（入浴設備はある所とない所があります）のサポートを行うとともに、軽作業や創作活動等を行います。

・重度訪問介護

重度の肢体不自由者または重度の知的・精神障がいにより常に介護が必要な方に、ヘルパーが家の中や外出時の介護等を総合的に行います。

・計画相談支援

〈サービス利用支援（サービス等利用計画作成）〉

障がい福祉サービスを利用するための計画を立てます。

〈継続サービス利用支援（モニタリング）〉

一定期間ごとに訪問。生活状況の変化など踏まえ、計画が適切かを確認します。



↑ほんわか全体企画でUSJに行きました。（本人右手前）

今回は、弓北祐輝さんの生活ほんの一部分を見てもらいました。もちろん生活すべてはお伝えできていません。障がいがあっても地域で生活をしているんだと言うことが伝われば良いなと思っています。弓北さんは地域での暮らしを選ばれて生活をされています。地域で生活をすることは近隣の方々にも理解をしてもらう必要があります。地域でこのように過ごされ、どんなことをしているのかを少しでも知ってもらい本人が楽しく生活をしている様子を伝えることができれば良いのかもしれません。

（文責：南）



みんなでクッキング☆



7/25(火)ライフ・ネットワークでは、クッキング・プログラムを実施しました♪

みんなで決めた今 回のメニューは、ホットケーキとアイスコーヒー！(^_^)

午前中は、まず卵を割り、ホットケーキミックスの粉を測りました。

そして、牛乳とミックス粉、卵をボウルで混ぜます。

ここでダマができないように、よく混ぜないとけません！

岡本さんも一生懸命！ですが、しっかりカメラ目線☆(右写真)

そして午後は、いよいよ生地を焼く工程に突入！

ホットケーキ1枚ずつ、生地を計量し、鉄板へ流します。

3分ほどして、生地の表面にツブツブと泡が出てきたら、ひっくり返します☆

緊張の一瞬！ひっくり返す場面では、あちこちから歓声の声が上がりました。

無事に焼き上がり、お皿にのせて、バター、メープルシロップ、そしてアイスクリームも添えるという豪華な仕上がり！

アイスコーヒーを用意して、みんなでワイワイ言いながら試食しました(*^~^*)



利用者 池田洋一さんの感想♪人初で初めてホットケーキを作りました！

こんな風に作るんや～と色々な情報をお聞きしました。とても美味しかったです。





祝・10歳！

ことし がつ にち いき はしょ りてん しゅうねん わかること
今年の11月1日、ライフ・ネットワークが今の場所に移転して10周年を迎える事になりました！

そこで、通所されているメンバーの皆さんに、10周年を迎えるにあたっての感想や
ライフ・ネットワークってこんなところですよ～といった声を集めてみました。

- ・他の利用者さんとのおしゃべりや色々な取り組みが楽しい。
- ・取り組みやイベントが楽しい。友達が出来た。
- ・職員や支援員と冗談を言い合って、楽しく過ごしています。
- ・クリエイティブな事業所。それぞれ自分らしさを発揮している。これからも通所して障害者の存在をアピールしていきたい。
- ・移転当初から通所していますが、自分らしく生活できる場として、楽しく通所しています。
- ・支援員さん、職員さん、利用者さんから色々、教えてもらえてありがたい。
- ・移転当初から通所しています。個性豊かなメンバーが増えました。これからもどんな人と出会えるか、楽しみにしています。
- ・みんなと仲良くおしゃべりしたりするのが楽しいです。プログラムも多種多様で面白い。イベントもいっぱいできたらいいと思います。ライフに来てよかったです。
- ・クッキングで色々な料理が作れて（食べられて）楽しいです。
- ・色々な人としゃべれて毎日、楽しい。
- ・色々なプログラムがあって楽しい。体操が好き。
- ・プログラム、イベントが面白い。

げんざい しゅうねん さかくちゅう
現在、ライフ・ネットワークでは、10周年にむけてイベントを企画中です！
どのようなイベントになるか、こうご期待！

きょうかいなつまつ ☆あいえる協会夏祭り☆ なつ せんいんしゅうごう ～夏だ！サマーだ！Summerだ！全員集合！～

がつ にち まいとしこうれい きょうかいなつまつ おこな
7月29日に毎年恒例のあいえる協会夏祭りを行いました。みんな
ほうじんかくぶしょ たの なつまつ かんが
法 人各 部署が 楽しい 夏 祭りにと 考えた それぞの コーナーで、 皆さん
かんしゃ きも こ いらにちがんは
への 感謝の気持ちを込めて 1日頑張りました☆



なつ かっこう みな でむか かた さ
* 夏らしい格好で皆さんをお出迎え☆たくさんの方が来ていただきました！
まいとしあこな じょうれん かた さ
毎年行うと、常連の方もたくさん来ていただきます！
ほんとう ほんとう
本当に本当にありがとうございます！

れいねん いんしょく こんかい いま ちが
例年は、飲食とゲームコーナーのみでしたが、今回は「今までと違うことをやろう！」という考え方のもと、大抽選会を行いました！



しょうひん かた えがあ いんしょうてき うえ しやしん
*商品をゲットされた方のニッコリ笑顔が印象的です！(上の写真より)

なつまつ りょうしゃ ちいさ みな たの いちにち す ほ
夏祭りでは、利用者、地域の皆さんには楽しい一日を過ごして欲しいとい
う思いとともに、障がい者の皆さんのが地域にたくさんいることを知ってもら
うことも目的です。みんなにやさしい社会はもちろん障がい者にとって
もやさしい社会だと思います。共に生きる社会の仕組みを大阪から、私たち
はっしん あらた かん いちにち
から発信していくと、改めて感じた1日にもなりました。

夏まつり



~いらっしゃいませ、夏を呼び込む~備忘録

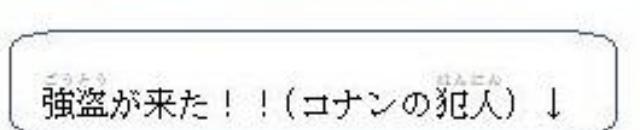
7月29日あいえる協会の夏祭りがありました~★

グループホームほんわかは餃子(ぎょうざ)の丸岡より、ソフトリンクを販売!! 販売ブースでは当事者スタッフとしてグループホームほんわか4の李恕愛(リ・スーアイ)さんが売り子としてお手伝いしてくれました~☆

とうじつのようす



暑中お見舞い
申し上げます
どうか来年も
お越しください☆



いらっしゃいませ~★どーぞ♪
(李さん 販売の様子)



ピア・エンジン

がねまさほうちんき GANE雅訪問記

だいだんさぎょうしょへん 第18弾 ひよこ作業所編

※ GANE雅とは、我如古と下村による当事者コンビです



今回は、住吉区我孫子にある生活介護事業所『ひよこ作業所』にお邪魔しました……が、取材当日、我如古記者は急病でお休みに。そのため、下村記者と編集長の二名で伺い、インタビューを行いました。

——どのような方が通所されていますか？

「支援学校を卒業した知的障害の方が多く通所されています。ほとんどの人はここから近い住吉区や東住吉区に住んでいて、送迎車で通います。一番年上の方で46歳、一番年下の方は19歳です」

——主な活動内容を教えてください。

「指編みマットの制作・販売、企業のマッサージルームにあるタオルの洗濯、サークル活動、生活練習、福祉の店での販売などです」

——指編みマットを始めたきっかけは何ですか？

「支援学校に通う障害者の親が、子ども達の支援学校卒業後の仕事を作ろうと、20年ほど前に始めた無認可作業所が、ひよこ作業所の始まりでした。障害があっても皆で取り組める作業を考えた結果、指編みマットを作ることになりました」



様々なサイズの指編みマット（左）



販売先により、ひよこのタグをつけて見栄えを良くします（右）

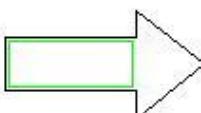
ゆびあ 指編みマットができるまで



材 料 は、靴 下 の 工 場 で も ら っ て き た つ ま 先
付 近 の 切 れ 端。
糸くずを取 り除くのも作 業 の 一 つ です。



大 き な 袋 に 詰 め ら れ て い る 切 れ 端 を、色 分 け
し ま す。



切 れ 端 を 束 ね て（左）このよ う な 形 に（右）



編 ん で い き ま す。編み 方 や 力 加 減 は 人 そ れぞれ な の だ と か。



一周したら、さらに追加して編んでいきます。
これを何度も繰り返して、大きくしていきます。



ガムテープで糸くずを取り除いて、完成！



カラーバリエーションは単色からカラフルなものまで色々。なので、それぞれの好みやこだわりに応じて割り振っています。最近は、顔の模様が人気だそうです。



周りの視線が気になる方も中にはおられるので、仕切りをしたり、壁向きに机を置いたりといった配慮をしています。

——サークル活動はどのような事をするんですか？

「月に一度、それぞれの部に分かれて活動します。成果はサークル発表会で発表します。近隣を散歩して写真を撮る散策部、工作や調理をする工作部、一番人気の音楽部があります」

——生活練習とは何ですか？

「歯磨き、洗顔、シャンプーなどが自分で出来ない通所者が多いので、一つでも自分でも出来るようになればと思い、そういったことを練習しています。今は、流行りのハンドスピナーを自作したいという声があり、通所者達が自分から言ってくることは珍しいので、それを作っています」



通所者が段ボールで自作したハンドスピナー。
写真奥の本物と比べても遜色ない出来映え…！？

——福祉の店とはどういったものですか？

「毎週金曜日に、浅香中央公園の『わあくわあく浅香』で食事や製品を販売しています。こちらの職員は送迎だけで、現地には売店の職員さんしかいないので、毎回緊張しているそうです(笑) 通所者がいつもとは違う人と関わる機会なので、ありがたいですね」

——最後に、読者に一言お願いします。

「毎週同じ事の繰り返しですが、それが落ち着いてのんびり出来る、アットホームな場所を目指しています」

ひよこ作業所の皆さん、本当にありがとうございました！



取材にご協力いただいた施設

指定生活介護事業所 ひよこ作業所

大阪市住吉区我孫子4丁目10番24号

06-6608-0406

文責：下村・森嶋